

30周年（執念）企画 プレスイベントのご案内
“孤育て”をなくし、お母さんの笑顔をつなぐ「百万母カプロジェクト」発表プレス会見
2019年7月30日（火）開催 お母さん業界新聞社へ社名変更

子育て支援事業を行う株式会社トランタンネットワーク新聞社（横浜市、藤本裕子代表）は、活動30周年の節目に、「株式会社お母さん業界新聞社」に社名を変更、虐待ゼロを目指して「百万母カプロジェクト」を全国的に始動！発表プレス会見と乾杯記念イベントに、全国のお母さん記者※が集結します。

7月30日は、お母さん大学恒例！お母さんの夢に乾杯する日。毎年「7月30日7時30分、子育てをがんばっている私に、夢に乾杯！」というイベントを開催。今年は、全国のお母さん記者&応援団が集い、「百万母カプロジェクト」発表ののち、横浜の夜景を眺めながら30回目の乾杯をします。

■「百万母カプロジェクト」発表イベント開催概要

主催：株式会社トランタンネットワーク新聞社

日時：「百万母カプロジェクト」プレス発表 17時～18時、乾杯パーティー18時～20時

会場：横浜アートグレイSPORTサイドヴィラ（横浜市神奈川区大野町1-4）JR横浜駅きた東口A徒歩7分

参加申込：本書末記のURL プレス用の申込フォームから

「百万母カプロジェクト」とは、子育て中の母親がペンを持ち、

「お母さん業界新聞」を制作・配布する活動を通して母親同士がつながり、“孤育て”をなくす活動です。

■横浜ほか全国で「百万母カプロジェクト」始動

お母さん大学本部横浜では、今秋「お母さん業界新聞 横浜版」を創刊。子育て中のお母さんたちがペンを持って横浜のまちを駆け抜けます！一人のお母さんが笑顔になって、周りのお母さんを笑顔にし、まちを元気にする運動です。初年度は、横浜ほか、静岡、大阪、福岡、横須賀、愛知で「百万母カプロジェクト」を推進。

「百万母カ認定企業」30社を獲得、5年計画で全国展開を目指しています。



「お母さん業界新聞 全国版」「お母さん業界新聞わたし版」

「わたし版」編集長たち

■子育て支援 30年のキャリアを生かして

・30年前、子育て真っ最中の藤本裕子は「“お母さん”だけでなく自分らしく輝きたい」と夢を描き、「トランタン新聞」創刊。以来「お母さんの笑顔」をテーマにさまざまな子育て支援事業を展開。2008年「母親たちの学び合いの場」として「お母さん大学」開校、「お母さん業界新聞」創刊後も広く子育て支援事業を進め現在に至る。

・トランタンとは、仏語で「30代」という意味。30周年の本年7月30日に「株式会社お母さん業界新聞社」と社名を変更。全国各地で「お母さん記者」を募り、地産地消の「お母さん業界新聞」を誕生させていく。今後も子育て支援事業全般は「お母さん大学」として推進していく。

■WEB+新聞+活動で「お母さんはスゴイ！」を発信

校舎もない、先生もない、カリキュラムもないお母さん大学。全国約1000人のお母さんが、お母さん大学生=※お母さん記者(MJ=マザージャーナリスト)としてペンを持ち、WEB+新聞(紙)+活動を通して「お母さんはスゴイ！」を発信。「お母さん大学サイト」では、全国の母親たちと交流、毎月「お母さん業界新聞」をつくり地元で配るほか、勉強会やイベントなど、お母さんたちの交流の場をつくっている。

■お母さん業界新聞はこんな新聞です

- ・全国のお母さん大学生と一緒に作る「お母さん業界新聞」全国版10万部。地域情報を盛り込んだ「エリア版」(静岡版・大阪版・福岡版)各1万部。わが子へのレポート「わたし版」全国80紙。「横浜版」5万部予定。
- ・MJ記者は、日々の生活の中にある出来事を、お母さん目線で発信。「子育てあるある記事」に、読んだ人は皆ほっこり。新聞を配る活動は「お母さんの心の種まき」といわれ、お母さんの笑顔をつなげている。
- ・お母さん業界新聞は「お母さんを知る」新聞としての評価も高い。ある企業では子育て世代の男性社員に配布。毎月自身も新聞を読み、さらにパートナーであるお母さんに手渡している。「新聞を読めば、お母さんの日常や気持ちかわかるし、妻も毎月新聞を楽しみにしている」と。お母さん業界新聞が家庭円満の秘訣になっている。
- ・男性も育児をする時代。パートナー紙「お父さん業界新聞」の企画も募集中!

お母さんって社会から孤立しがち? いえいえそんなことないんです!

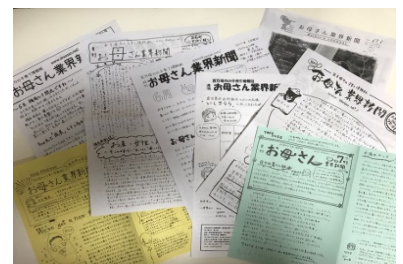
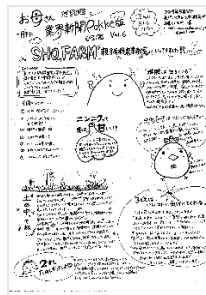


「お母さん業界新聞静岡版」

「大阪版」

「ちっこ版（福岡版）」

「お母さん業界新聞わたし版」



■お母さんの思いからつながる活動に

- ・1人の子どもも悲しませたくない

横浜市の2018年度虐待相談件数は2017年度の1.4倍にあたる9605件。虐待を受けているのは未就学児、虐待をしているのは実母が最も多く、相談の約半数が心理的虐待に関するものだった。（横浜市こども青年局発表）

- ・お母さんも働き続けたい

仕事をしていない女性の9割以上が「仕事に就きたい」と考えている。働き続けていくために必要なのは「仕事と家庭の両立のための制度と理解」と「男性の家事・育児等への参画に対する制度や理解」とされている。（横浜市女性活躍推進協議会）

- ・夫と子育てをシェアしたい

お母さんとしても、ひとりの人間としても輝いていたい。男は仕事、女は家事育児の分業時代は終わり、今や、仕事と子育ての両立を望む人が大半。家庭円満には、夫婦間コミュニケーションが重要であり、「ワンオペ育児＝孤育て」からの脱却、夫の理解と協力が絶対的に必要である。

■お母さん大学×地元企業×自治体「百万母力プロジェクト」の特徴

- ・お母さんが主役の“孤育て”をなくす（虐待防止）運動
- ・子育ては未来づくり。お母さん大学×地元企業×自治体の子育てSDGs
- ・地域で新聞活動しながら母力を高め、企業力、地域力として生かす
- ・たった一人のお母さんから、百万人のお母さんへ思いをシェア。笑顔の種まき活動
- ・社員の子育てを応援する「お母さん業界新聞」、男性読者も多数！
- ・横浜ではMJ48を公募するほか全国でMJを募集、百万母力認定企業（百万母力プロジェクト参画企業）も募集



■MJ記者の条件（子育てが楽しくなる活動をご一緒に！）自社サイトやSNS、メディア等で公募

横浜在住・在勤の子育て中のお母さん、本名・顔出しで活動、編集のキャリアは問わない

育休中のお母さん、子育てに自信がないお母さん、シングルマザーや転勤族、外国人のお母さんも歓迎

■3つの条件をクリアした「百万母力認定企業」とともに地域の課題解決に取り組んでいく

1. お母さんの笑顔をつなぐ「百万母力プロジェクト」を協働で行う企業
2. 子育て支援、両立支援を積極的に行っている企業
3. お母さんの笑顔あふれる未来づくりに貢献している企業

【本リリースに関するお問合せ先】株式会社トランタンネットワーク新聞社 担当：青柳真美

TEL045-444-4030 090-1456-2536（青柳） FAX045-444-4031 Email：info@30ans.com

URL：<http://www.okaasan.net/oshirase/news/2019kanpaiparty/>

